研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-134		18-057	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Positive excessive drinker prototypes predict greater drinking and alcohol problems.

肯定的過剰飲酒者の典型概念は、多量飲酒とアルコールの問題を予測する

執筆者

Dillard AJ, Ferrer RA, Bulthuis KRK, Klein WMP.

掲載誌

Br J Health Psychol. 2018 Nov;23(4):1000-1020. doi: 10.1111/bjhp.12335.

キーワード	PMID
アルコール消費; アルコール関連問題; 縦断モデル; プロトタイプ	30084206

要　旨

目的：

典型概念意欲モデルによると、大量飲酒などの危険行動は、この行動に従事する他人のイメージに影響される可能性がある。制限を超えて頻繁に飲む大学生個人の典型概念が、大学最初の 2 年間の飲酒とアルコール関連問題の経験に関連するか調べた。

方法：

小さな一般教養大学で無作為に抽出された学生（n = 340、女性 66%、17-21 歳）を対象とし、過剰飲酒の典型概念と飲酒量および関連問題についてアンケートを用い 4 時点で評価した（2000-2004）。4 時点まで追跡できたのは 219 人であった。2 年間でプロトタイプが飲酒量と関連問題を予測するか、典型概念の予測値が、知覚的記述規範、知覚的差止め規範、およびアルコールを飲む仲間の圧力などの関連変数とは異なるかどうか分析した。

結果：

過剰飲酒者のより肯定的な典型概念が 1 年目と 2 年目ともに飲酒量増加に有意に関連した。より肯定的な典型概念は 2 年目のアルコール関連問題の経験と有意に関連した。これらの発見は、知覚的記述規範および差止命令的規範、および仲間からの圧力を制限する際に保持された。

結論：

飲酒者の典型概念が飲酒行動にとって重要であることをさらに指示している。